

# HANAYAMA TIME



Leave it  
To  
The President

ついてきてくれたら、応えてみせる

大坪由佳

ハナヤマタ インタビュー

もどかしさに  
向きあえた理由

3年という時間を思い描くとき、あなたは長いと感じるだろうか？デビューから丸3年を迎えた大坪由佳さんは、自分のキャリアを“たった3年”と笑

いながら語る。しかし、その時は誰にも負けない濃密な”たった3年“だったはずだ。

デビューの時、右も左もわからない素人同然だったのは、その収録現場で私だけだったんです。でも、”ああ、どうしよう”“っ”ておろおろしていた私を、回りの先輩たちがフォローしてくれて、なんとか仕事をこなすことができました。わからないことを教えてくれたり、引っ張ってくれたりして……例えば、ロー

ルプレイングゲームでレベルがとて高いパーティーに、レベル1のキャラクターが混じっていて、すごい勢いで経験値が上がっていく、みたいな感じでしょうか(笑)。

それはものすごくありがたいことだし、とても幸せなことだったと思います。でも、幸せだと感じつつ、自身のステータス、実力があまり上がっていないということも感じていて、できることと求められていることが上手くかみ合っていないように、もどかしい気持ちも正直

ありました。

でも、私はどこまでいっても樂觀的な性格なんですよ。その状況に置かれたら仕方ない、やろう！って、むしろ開き直れちゃうんです。だから3年間という時間で変わったといえば変わったと思いませんし、でも根っこの部分は変わってないし……そんな感じですね、うふふ。

ただ、当時の私と同じような境遇に置かれている新人の方を見ると、自分とすごく重なるん

ですね。『私もあんな感じだったのかな』って思いつつも、まだ先輩たちのようにしっかりサポートをしてあげられるまでにはなれていないので、せめて面白いことをいって場の雰囲気や和ませようと、できる限り努力をしています。でも、たった3年程で頼られすぎるのもちょっと荷が重いので、面白いぐらいのポジションがちょうどいいのかな？と思うんです。

他の子たちが悩んでいるのならできる限り助けてあげたい。あのころの私は、自分だけのこ





で精一杯で、周りのメンバーはみんな大変だったんだろうな……って思うから。そういう思い、今回演じさせていただく多美ちゃんと重なりますね」

## 引き寄せるのではなく 近づいていく自分

演じ続けることで、周りを見渡す余裕ができたと言語の大坪さん。彼女が演じる『西御門多美』は、そんな彼女にとって大きなチャレンジだったという。

「私も中学生のころは、多美ちゃんと同じ生徒会副会長という役職だったんです。会長は荷が重いから一歩引いた少し偉い立場にいる、みたいな。ちょっとおいしいポジションですよーあ、そんなことは多美ちゃんは思っていないか(笑)。でも、会長の真智ちゃんがかくじけそうになったとき、横で支えてあげたいと思う多美ちゃんの気持ちは、私が会長の子に思っていたことと同じかな……と思います。もともと、私の中学時代はあんなに落ちていたのは髪の長さで、似ていたのは髪の長さでスカート

丈くらいでしたけど(笑)。

最初はそんなことを思いながら、どう多美ちゃんを演じればいいのかを、考えていました。彼女は『ハナヤマタ』に登場するキャラクターの中で、私と一番間逆な子なんです。だからこそ、確かに演じるのはとても難しいけれど、その分これまでの私のイメージとは違う、ギャップという新鮮さを感じてもらえるんじゃないか?とも思っただんです。

多美ちゃんって、外と中で“顔”がハッキリ分かれているんです。自分が他の人からどう見られているのかをちゃんと理解しているから、他人に胸の内を見せるようなことは決してしない。それも自分のためではなくお父様のためだから、なおさら頑ななんです。

それが、なるちゃんやハナちゃんたちと『よさこい』をはじめること、多美ちゃんは変わっていくんですね。彼女の人生で初めて自分の意志で好きなことをやりたいという瞬間なんです。それをどう表現するのか……これって、彼女が生きてきた十数年分の想いだから、すごく、すごく重いんですよ。そういったことも踏まえ、いかに多美ちゃんに近づいていけ

るかを試行錯誤しました。声質も当初の想定より低めにしたリ、いろいろ試したんです。そうやってアフレコを重ねるにしたがって、『あ、多美ちゃんってこういう感じ』という瞬間が多くなってきて……今はようやく多美ちゃんに近づけてきたかな、という感じです。

## 歌 役者以外のチャレンジ、

新しい芝居へのチャレンジと共に、新たなチャレンジをスタートさせる大坪さん。『深海少女』『桜の季節』といった人気楽曲を手がけたゆうゆさんと組んだユニット『smiley inc.』（スマイリー）の立ち上げだ。

「一緒にユニットを組むゆうゆさんの曲は、他のイベントで歌わせていただいたくらい大好きだったんです。そういうすごい方とユニットを組むというのがすごく嬉しい。ファンの人達ともこれまでと違う形でふれあえる機会をもらったのは、とても感謝しています。でも、『ハナヤマタ』のエンディング曲を担当させて頂けると聞いた時は、さすがに責任の重さに、ちょっと震えちゃいましたけど。営業を仕掛けた最初の仕事です（笑）」

”企業“がコンセプトのユニットで、しかも私は役職が”社長“なので。ファンの皆さん、すなわち”社員“のみなさんに喜んでもらえる会社にしていくように、どんどん挑戦していきたいですね。

そのためにも、私もできるこ



とからがんばろう！って、実は今、譜面もしっかり読めるように勉強中なんです。まずはそこからスタートして、もっともっと自信を持って歌を歌えるようになりたい。そんな部分も社員のみなさんと共有して、いっしょに一つの会社として大きくなっていきたいですね。自分たちのがんばり次第で、どこ

までも大きくしていけると思っているの。

やっぱり声の力ってすごいと思うんです。ライブとかで数万人の人を喜ばせられるのも、声の力ですよね。だから芝居はもちろん歌でも驚かせるようなパフォーマンスを見せたいんです。だから、もしsmiley inc.で、



### 西御門多美 (CV. 大坪由佳)

なるの幼なじみで、生徒会副会長を務める中学3年生。なるにとっては子供の頃からの憧れの存在で、才色兼備のお嬢様だが、ファザコン気味なのが珠に瑕？なるとハナに誘われたよさこい部と、西御門の娘としての日々の努力との間で揺れることに。

### PROFILE

#### 大坪由佳 (おおつぼゆか)

6月11日生まれ。

EARLY WING 所属。

主な出演作は

「ゆるゆり」(歳納京子)、

「這いよれ！ ニャル子さん」

(暮井珠緒、マンタ君)、

「悪魔のリドル」(番場真昼、

番場真夜、番場真昼の人形)、

「犬神さんと猫山さん」(終木秋

など



そういうことができたなら、私つてもすごい泣き虫なんで泣いちゃうかも(笑)。

でも、その時は、社員のみんなはきつと『社長が泣いてる！僕達がんばってついてきて良かった！』って思ってもらえる……はず(笑) 夢は大きく、全国ツアー！“じゃなくて”社員旅行“！なんていいですよね”

どんなに大きな課題があっても、それを笑いながらクリ

アしていく——本人は生まれ持った楽観的な性格のおかげと笑うが、積み重ねてきた努力が、その笑顔を一層魅力的にさせている。

大坪さんが考える声優像、そして彼女はどのような未来を目指しているのだろうか。

「私が声優になりたいと思った理由は、その仕事の幅広さなんです。アフレコや舞台はもちろん、ラジオや司会、歌まで歌っ

てしまう……これって、毎日違うことができて面白いに違いない！って思ったんです。もともと、実際になってみて確かにいろんなことができるのは楽しくて面白いけれど、それ以上に大変だというのがわかりましたけどね(笑)。

でも、期待されているならば、それ以上のことをして返してみたいと思うタイプなので、みなさんの予想を裏切るようなサブライズがたくさんある役者にな

りたいですね。『このタイミングでそれをしちゃうの!』みたいな。誰もチャレンジしたことがない領域へ、足を踏み入れていきたいタイプなんです。

だから、ついてきてくれたらきっと面白いことがあります！そこは保証します。だってほら私、社長 ですから”



Photo / Masaaki Matsumoto  
Text / Yohei Ogawa  
Editor / Koji Terada  
Design / Over Drive

© 浜弓場 双・芳文社 / ハナヤマタ製作委員会

T V アニメ「ハナヤマタ」7月よりテレビ東京ほかにて放送開始